

## 防災訓練（要素訓練）結果報告の概要【濃縮事業部】

### 1. 訓練の目的

本訓練は、六フッ化ウラン漏えい事象に対する対策活動に係る能力の習得・向上を目的とする。

### 2. 実施日

2015年4月28日（木）～2016年2月10日（水）  
（訓練ごとの実施日は、「添付資料」参照。）

### 3. 実施場所

ウラン濃縮工場

### 4. 実施体制、評価体制および参加人数

#### （1）実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

#### （2）評価体制

定められた手順書等に基づき、対策活動が実施できるかを実施責任者が評価する。

#### （3）参加人数

「添付資料」のとおり。

### 5. 原子力災害想定の概要

液化中の均質槽の故障により、六フッ化ウランが管理区域内および管理区域外（屋外）へ漏えいすることを想定する。

また、事象の発生に伴い、負傷者の発生を想定する。

### 6. 防災訓練の項目

要素訓練

### 7. 防災訓練の内容

#### （1）避難誘導訓練

#### （2）通報訓練

#### （3）設備応急訓練

#### （4）モニタリング訓練

#### （5）救護訓練

## 8. 訓練結果の概要

### (1) 避難誘導訓練

- ① 避難誘導員を現場へ配置し、避難誘導、出入管理システム等と避難者との照合による点呼確認、監視カメラによる不明者および負傷者の有無の確認を行った。
- ② 必要な安全装備（防護服、防護マスク等）を装着し、負傷者の救出訓練を行うとともに、負傷者の引渡方法(放射線管理班、救護班との連携方法)の確認を行った。

### (2) 通報訓練

- ① 事象に応じた通報文の作成および訂正を行った。
- ② 通報文のFAX送付先および電話連絡先の確認、全社対策本部との連携方法の確認、発生した事象の情報収集・整理を行った。

### (3) 設備応急訓練

- ① 六フッ化ウラン漏えい対処に対する手順、方法、資機材の確認を行うとともに、防護具着用訓練および資機材の使用訓練を行った。
- ② 六フッ化ウランの漏えい拡大を防止するため、建屋扉（屋外）、2号発回均質室シャッタに対してビニールシートで養生を行った。

### (4) モニタリング訓練

- ① 退避者の身体サーベイ、設備応急活動時の放射線測定およびフッ化水素の測定を行った。
- ② 資機材の準備およびチェンジングルームの設営訓練を行った。

### (5) 救護訓練

負傷者の身体サーベイ、負傷者の引渡方法(総務班、救護班との連携)の確認を行った。

## 9. 訓練の評価

六フッ化ウラン漏えい対処、負傷者救助について、手順書どおり実施できることを確認した。訓練ごとの実施結果および今後に向けた改善点は添付資料のとおり。

以上

〈添付資料〉

要素訓練の概要

## 要素訓練の概要

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(1)避難誘導訓練	2015/7/22 2015/7/27 2015/7/28	①総務班長 ②総務班員	17名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに避難誘導員を現場へ派遣し、避難誘導、点呼確認等を行うとともに、迅速に負傷者を救出することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ手順書の見直しを行うとともに、繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> </ul>
	2016/2/8	①総務班長 ②総務班員	18名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の引渡方法(放射線管理班、救護班との連携方法)を確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>
(2)通報訓練	2015/4/28 ～ 2015/5/12	①本部事務局班長 ②本部事務局班員	28名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象に応じた通報文の作成および訂正の方法について確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> <li>・班員全員が全ての役割を実施できるように、班内の役割分担を変更して訓練を行い、班全体の技量向上を図る。</li> </ul>
	2016/2/10	①本部事務局副班長 ②本部事務局班員	5名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象に応じた通報文を作成し、目標時間内に通報連絡できた。</li> <li>・全社対策本部(事業部連絡員)、事業部対策本部各班との連携について確認できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> </ul>

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(3) 設備応急訓練	2015/7/28	①設備応急班長 ②設備応急班員	20名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六フッ化ウランの漏えい対処の手順、方法、資機材の確認ができた。</li> <li>・防護具の着用、資機材の使用ができた。</li> <li>・他班との連携を確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班員全員が全ての役割を実施できるように、班内の役割分担を変更して訓練を行い、班全体の技量向上を図る。</li> </ul>
	2015/9/17	①設備応急班長 ②設備応急班員	17名 (当社社員)		
	2016/2/10	①設備応急班長 ②設備応急班員	18名 (当社社員)		
(4) モニタリング訓練	2015/9/17	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	15名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退避者の身体サーベイや屋内外の設備応急活動時の放射線測定、フッ化水素測定を適切に行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ手順書の見直しを行うとともに、繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> <li>・必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>
(5) 救護訓練	2015/7/27 ～ 2015/7/28	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	20名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の身体サーベイを適切に行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> <li>・必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>